

中学校区におけるめざす子ども像
(確かな学び)主体的に学び、夢に向かって努力し続ける子

堺市立 英彰小学校
校長 白坂 充弘

令和6年度 重点目標 心身ともに健康で 主体的に学ぶ 子どもの育成
めざす子ども像 「自ら考え、判断し、行動する子」
「英彰最高や！(えがおで いっしょうけんめい しょうじきに さいごまでねばりよく こうじょうしんをもって やさしい 英彰の子)」
めざす学校像 「子ども、保護者、職員が『英彰でよかった』と満足できる学校」

確かな学びの現状
4年前より、教科研究を国語科にし、校内研修に取り組んだ。昨年度までの校内研修では、主知的に国語の学習に取り組む子どもたちの姿をめぐらし、自分で問題意識をもち、自ら進んで学びに取り組む子どもたちが増えてきた。しかし、既習事項の定着に課題があり、学びを確実に蓄積していくことが必要である。子どもたちだけでなく、教員も指導事項を明確に理解し、今までに学習した内容も振り返り、活用しながら、学びの定着とそれらを他教科で応用することのできる子どもの育成を重点的な課題として教育活動を進めていく。

豊かな心・健やかな体の現状
昨年度の学校教育アンケートでは、いじめや決まりの質問に対して肯定的な回答が80%以上だった。肯定的な回答が多いが、さらに正しく判断し、正しく行動できるように、道徳教育の充実、生徒指導主事を中心とした児童への生徒指導・生活指導の改善を図り、豊かな心の育成に努める。
健やかな体では、危険を予測する力の向上やいろいろな運動に挑戦する力の向上が見られた。今年度も引き続き、健康な体づくりをめざした取り組みを行っていく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～〇月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	教科 学力	教科学力の向上 読解記述力の向上	●通常授業 ●研究授業 ●主体的学習ノート ●朝の学習	国語の学習を通して、できるようになったことが増えましたか。 A: 肯定的回答90%以上	国語アンケート	1, 2学期	低学年88% 中学年92% 高学年96%	A	国語の研究授業を通して、児童理解も進めてきている。「レディネステスト」から、実態をつかみ、単元へとスムーズに入れるよう工夫してきた。	A	3年間の成果が上がってきているのは、素晴らしい！質問の文章もわかりやすくなっている。
	学びの 基礎力	児童が自分の考えを表現する力の向上	●授業で、思考の過程がわかるノートづくりに取り組んだり、意見を交流する場面を設定したりする	学習するときは、自分の考えなどをノート等に書いたり、発表したりしている。 A: 肯定的回答80%以上	学校教育アンケート	2学期末	84.00%	A	目標達成に3年かかったが、「何かを書く」ということが習慣づくことが、考えの整理につながり、深い学びにつながると感じている。学習のめあてが明確になることで、本時のねらいを教師・児童が共通理解して授業に取り組めるようになってきた。	A	先生と児童の意思確認(先生が教えているつもり)が難しいのではないかと。書籍を通しての調べ学習が不足するのではないかと。
		児童が目標、目的意識をもって学ぶ力の向上	●授業の目的やめあてを児童と確認する	学習をするときは、目的やめあてを意識している。 A: 肯定的回答80%以上	学校教育アンケート	2学期末	83.00%	A		A	
		情報収集の力の向上	★普通の授業で、必要に応じて活用する。	低: 知りたいことを本やインターネットで調べることができる。 中: インターネットで知りたいことを、キーワードの組み合わせを考えて、調べることができる。 高: 知りたいことをキーワードにして組み合わせたり、検索サービスを選んだりして調べることができる。 A: 肯定的回答83%以上	情報活用チェックシート	2学期末	低学年95.2% 中学年94.7% 高学年95.4%	低学年A 中学年A 高学年A	各学年、総合や国語科・社会・外国語などを通して、情報を得る目的や手段を意識して学習できるようになってきた。	A	
社会的 実践力	児童が人と繋がる力の向上	●授業で自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりする場面を設定する。	学習で困ったとき、友だちに相談することができますか。 A: 肯定的回答85%以上	学校教育アンケート	2学期末	85%	A	友だちとの交流をよく行い、協力的な学びができています。	A		
豊かな心・健やかな体	主体的に活動する力	豊かな心の育成	●児童の小さな変化を見逃さず、「学校いじめ防止基本方針」に基づいたいじめの未然指導・早期発見に努め、組織的に対応する。 ●道徳教育の充実	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思おう。 A: 肯定的回答95%以上	学校教育アンケート	2学期末	92%	B	小さい事案でも「いじめをしてしまった」と感じている児童が肯定的な回答をできなかったと分析している。	B	「学校で安心して過ごすことができる環境として、最低でも90%以上は獲得していただきたい。また、いじめとは違って「自分自身の不安」をどうやわらげていくか、も必要ではないかと。
		児童が安心して過ごすことができる環境をつくること	●決まりを守って行動する大切さを意識した仲間づくり ●子どもが楽しく思えるような学級、学年づくりを行う。そのために、子どもも理解と支援を担任だけでなく、担任と連携して取り組む。 ●子どもが相談できる機会や環境づくりを行う。	学校の決まりを守っているか A: 肯定的回答85%以上 学校では、安心して過ごすことができる。 A: 肯定的回答85%以上	学校教育アンケート 学校教育アンケート	2学期末 2学期末	90.00% 88.00%	A A	「廊下・階段を歩く」については、課題である。 「安心して発言できる授業」を基本に、今後も進めていきたい。	A B	
	健康な体づくり	児童が危険を予測する力の向上	●児童が自分の身を守るために必要な基本的事柄を避難訓練や防災教育等で身に付けさせる。 ●安全な生活を送るために、けがの防止に努める。	災害が起きた時に身を守る方法を知っておいた方がよいと思う。 避難の仕方がわかっている。 A: 肯定的回答95%以上	学校教育アンケート	2学期末	98%	A	水平避難・引き渡し訓練など、地域の方や保護者の力添えもあり、真剣に取り組むことができた。	A	防災意識の向上について、良い方向に進んでいると思う。「向学心」の持続の重要性を意識してほしい。朝食に関しては、家庭の問題もありますが、言い続けてくださってありがとうございます。
		児童が自身を自己管理ができる	●生活見直し習慣や教科に関連した食に関する指導を通して、自らの食生活について考える力を育成する。	朝ごはんを食べることは大切だと思う。 A: 肯定的回答98%以上	学校教育アンケート	2学期末	97%	B	意識は高まっている。	A	
		いろいろな運動に挑戦する力の向上	●「小学校体育指導の手引き」を積極的に活用し、体育の楽しさを実感できる授業に努める。	運動が少しでもできるようになりたいと思う。 A: 肯定的回答90%以上	学校教育アンケート	2学期末	97%	A	意欲的に学ぶ姿が多くなった。	A	
地域協働	開かれた学校づくり	家庭・地域に開かれた学校づくりの推進	●学校の取り組みや児童の様子	学校は、教育方針や教育内容を、手紙やホームページ、及び懇談会等で分かりやすく伝えていきますか？ A: 肯定的回答80%以上	保護者アンケート	2学期末	91.40%	A	体操服や標準服についての記載がわかりにくいと保護者の方から報告があったので、簡潔にしていきたい。	A	

校長より(年度末)
子どもたちの学びに向かう姿勢が向上してきていることを実感している。授業の中でICT機器を活用することが日常となり、授業風景が変化してきた。今後は一人ひとりが自分自身の得意なこと、苦手なことを知り、どのように学ぶか、なぜ学ぶかを意識して学びに向かえるような学習者に育てたい。その結果として、教科学力が向上することを期待する。学校教育アンケートの結果が年々改善している。本プランの項目には含まれていないが「学校に来るのが楽しい」の設問に88%の児童が肯定的回答をしている。昨年度の78%から大幅にアップした。今後も地域の皆様のご支援を賜りながら、子ども、保護者、そして教職員が「英彰でよかった」と思える学校づくりをしていきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
いつも訪問させていただいていますが、職員室の雰囲気も良いです。また、子どもたちの様子も楽しそうにいい笑顔が見られているのでうれしいです。防災まちづくり研修を実施しているが、発表会に地域の案内がなかったのが残念です。先生にとって英彰小学校は明るく楽しい場と思えるような学校に努めていただきたい。(大変ですがよろしく願います)「学校は楽しい」と思える活動をPTAから発信していこうと考えている。保護者の皆様にご協力いただきたい。